

資料 1

2014年産りんごの生産状況について

1 りんごの生育ステージ

4月下旬から気温が平年より高く推移したため、りんごの開花日は平年より2～3日早まりました。

表1 りんごの生育ステージ

りんご研究所（黒石市）

品 種	年 次	発芽日	開花日	満開日	落花日
ふ じ	本 年	4月 5日	5月 6日	5月11日	5月14日
	平 年	4月 9日	5月 8日	5月14日	5月18日
	平年差	早4日	早2日	早3日	早4日
つがる	本 年	4月 4日	5月 5日	5月10日	5月14日
	平 年	4月 8日	5月 8日	5月13日	5月18日
	平年差	早4日	早3日	早3日	早4日
ジョナゴールド	本 年	4月 3日	5月 5日	5月10日	5月14日
	平 年	4月 6日	5月 7日	5月13日	5月17日
	平年差	早3日	早2日	早3日	早3日
王 林	本 年	4月 4日	5月 3日	5月 9日	5月13日
	平 年	4月 8日	5月 6日	5月12日	5月16日
	平年差	早4日	早3日	早3日	早3日

注) 平年値：1991年から2010年までの20か年平均。

2 果実の肥大状況

開花が平年より早く、その後も大きな自然災害がなく天候に恵まれたため、最終調査時点では、横径の平年比が101～104%と平年をやや上回っています。

表2 りんご果実肥大経過（横径）

りんご研究所（黒石市）

品 種	調査日	本 年 (cm)	平 年 (cm)	前 年 (cm)	平年比 (%)	前年比 (%)
ふ じ	11月 1日	9.0	8.8	8.9	102	101
つがる	9月 11日	8.8	8.7	8.6	101	102
ジョナゴールド	10月21日	9.7	9.3	9.4	104	103

注) 平年値：1991年～2010年の20か年平均。

ただし‘ふじ’及び‘ジョナゴールド’は1991年を除く19か年平均。

3 2014年産りんごの予想収穫量

2014年産りんごは、一部で霜やカラマツ（不受精花や不稔花）による影響が見られたものの、全般に十分な着果量となっており、果実肥大は、平年をやや上回っています。

2014年産りんごの予想収穫量は、前年収穫量を4万2,000トン上回る45万4,000トンが見込まれています。

表3 2014年産りんごの予想収穫量（2014年8月1日現在）

品 種	結果樹面積 (ha)	予想収穫量 (t)	前年収穫量 (t)	前年収穫量 との差(t)	前年対比 (%)
つ が る	2,290	49,200	45,500	+3,700	108
ジョナゴールド	2,060	43,700	41,400	+2,300	106
王 林	2,200	47,500	46,900	+600	101
ふ じ	9,770	219,800	204,800	+15,000	107
そ の 他	3,680	93,800	73,400	+20,400	128
計	20,000	454,000	412,000	+42,000	110

注) 1 結果樹面積は、県りんご果樹課推定値

2 前年収穫量は、国公表の実績値

3 前年対比は、前年収穫量に対する比率

4 病害虫の発生状況等

病害虫の発生は、全般に少ない状況です。

台湾向け輸りんごについては、選果こん包登録施設事業者に対し、モモシンクイガ被害果実の排除の徹底等に関する研修会を開催したほか、台湾の農薬残留基準値の設定状況について、県ホームページへ掲載し、広く周知に努めています。

5 2014年産りんごの品質

2014年の果実は、各品種とも大玉傾向となっており、加えて8月中旬以降の日照や天候などにも恵まれたことから、果実品質は着色に優れ、食味が良く、良好な仕上がりとなりました。

資料2 台湾へのりんご輸出拡大に向けた青森県の取組について

1 輸出の目標と現状

青森県では、青森りんごの輸出目標数量30,000トン掲げて、台湾をはじめとする東アジアや経済成長著しい東南アジアを対象に輸出拡大に取り組んでいます。

その中で最も重要な輸出先に位置づけているのが台湾であり、全輸出量の約90%が台湾向けとなっています。

(1) 台湾へのりんご輸出目標と実績

年産	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
目標数量(トン)	—	—	—	20,600	21,680	22,760	23,840	25,000
実績数量(トン)	23,878	20,498	21,656	15,912	8,459	13,214	16,545	4,203 ※10月末実績
達成割合(%)	—	—	—	77	39	58	69	

台湾がWTOに加盟した2002年以降、台湾へのりんごの輸出は順調に伸び、2006年産から2009年産までの4年間は、連続して2万トンを超えました。

しかし、2010～2012年産の輸出量は、円高や東日本大震災の影響等により減少し、特に、2011年産では不作に伴う産地価格の高騰もあって激減しました。

2013年産は、台湾の販売関係者の皆様の御協力によって1万6,545トンまで回復しましたが、まだ十分とは言えない状況です。

(2) 今年産りんごの台湾への輸出希望数量

2014年産輸出希望数量	2万5,000トン以上
--------------	-------------

2014年産のりんごは、前年を上回り平年並みの生産量を確保できる見通しです。青森県では、今後の生産管理に万全を期して、高品質・良食味なりんごを皆様に供給したいと考えています。

本年産の輸出量が2万5,000トン以上になるよう御協力をお願いします。

<品種別希望割合>

品 種	サンふじ	ふ じ	ト キ	王 林	世界一	その他
割 合	50%	30%	5%	5%	5%	5%

本年産も「ふじ」を中心にしながら「トキ」や「王林」など黄色りんごも一

定量輸出したいと考えています。

2 台湾への輸出対策

台湾の皆様へ安全・安心、高品質で美味しい青森りんごを提供するため、青森県では関係者一同力を合わせて次の対策に取り組んでいます。

(1) 生産・流通対策

①農薬の適正使用により、病害虫の防除を徹底しました。

②黄色品種については「カラーチャート」の利用による適期収穫を徹底しました。

(2) 輸出拡大対策

①生産者等の輸出を目指した生産への意識を醸成し、高品質で良食味な生産により青森りんごの競争力を強化します。

②台湾の販売関係者の産地招へいや産地情報の発信により、台湾側関係者との信頼関係を強化します。

実施時期	内 容
2014年 10月6日	○台湾販売関係者の産地招へい 県りんご輸出協会が設立した「台湾青森りんご友の会」の台湾の販売関係者を招へいし、産地視察や関係者・生産者との意見交換会を実施
2014年 12月18日	○台湾での販売状況調査・意見交換会 生産者・農協等が台湾における店頭販売や市場調査を通じて販売状況を把握するとともに、台湾の販売関係者との意見交換会を実施
2014年 12月20日 ～21日	○知事トップセールス 青森りんごキャンペーンにおける台湾のスーパーマーケット等での試食宣伝販売や台北国際マラソン等でのPR
2015年2月	○輸出対策の検討 台湾における販売状況調査や意見交換会を踏まえ、今後の輸出対策を検討
2014年9月 ～ 2015年3月	○産地情報の発信 「台湾青森りんご友の会」の輸入業者等を通じて、台湾の販売関係者にメールマガジン等により産地情報を提供